



激動する世界の中での インターナショナルオフィスの挑戦

副学長・インターナショナルオフィス長 和田 健司

インターナショナルオフィス長を拝命してから1年以上が経過しましたが、この間、社会は大きな変貌を遂げています。コロナ禍の収束が進む一方で、急激な円安や地域紛争、異常気象の頻発など、私たちの暮らしや活動に影響を及ぼす事象が続いています。国際交流も例外ではなく、留学生の受入れや日本人学生の派遣がその影響を受ける中、インターナショナルオフィスでは、地に足のついた教育研究活動を堅実に進めつつ、時代の要請に応じた柔軟かつ迅速な対応を行っています。

インターナショナルオフィスでは、「様々なバックグラウンドを有する人材との交流により学生の視野や思考を広げるため、性別や国籍、年齢や障害の有無等の観点から学生の多様性を高めるとともに、学生が安心して学べる環境を提供する」という中期目標を基盤として活動を実施しています。関係者の皆様の努力の結果、留学生受入れ数や日本人学生の派遣数が着実に増加し、地域と連携したグローバル教育プログラムも定着しつつあります。さらに、グローバルカフェへの訪問者数も急増し、クラスやイベントも多くに学生に支持されています。また、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)関連部門との協働も進み、確実な成果が見られています。

一方で、世界の課題に対応するための共同研究やイベントの開催も進めています。特に、タイのチェンマイ大学、台湾の国立嘉義大学との第3回三大学シンポジウムが、本年8月にチェンマイで開催され、本学からも多くの参加者が議論を深めました(右下写真、およびp.2)。このシンポジウムでは、分野の壁を越えた国際共同研究への展開が期待される意義深い議論が行われ、成功裡に終了しました。また、SDGsに関する国際会議の主催や職員の協定校への派遣など、大学のグローバルな存在感を高める活動も活発に行っています。さらに、コロナ禍の影響で一時的に中断していた「トビタテ!留学JAPAN」プログラムの後継事業として、地域の皆様のご理解を得て「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」が再開されました。ご支援頂いている皆様に深く感謝申し上げます。

オフィスを支える人材についても変化がありました。長年にわたり留学生センター長として多大な貢献をされたロン・リム先生が、昨年度末に定年退職されました。これまでの多大なご尽力に心より感謝申し上げます。また、その後任として新進気鋭の呉先生が着任されました。さらに、米国に栄転されたBenn先生の後任として、英国出身のLuke先生が新たに加わり、オフィスの体制はしっかり整っています。

これからも、インターナショナルオフィスは香川大学内外の関係者と協力し、地域の国際化と教育の質向上に貢献してまいります。皆様の引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。



<国際交流活性化の推進>

第3回香川大学・チェンマイ大学・国立嘉義大学合同シンポジウム および帰国留学生ネットワーク タイ支部総会を開催しました

令和6年8月27日(火)～29日(木) タイ国チェンマイ市内において、第3回香川大学・チェンマイ大学・国立嘉義大学合同シンポジウム(“The 3rd Trilateral Symposium on Sustainability” -Strategies for Climate Action and Mitigation of Climate Change Impacts-) が開催され、本学からは上田夏生学長、秋光和也理事を始め、教職員37名、学生31名が参加しました。

本学とチェンマイ大学は、2007年より両大学にて合同シンポジウムを交互に開催し、2018年までに7回の合同シンポジウムを実施しました。一方、国立嘉義大学とは、2012年から2017年まで毎年、2018年以降は隔年で合同ワークショップを実施しました。そして、2021年からは3大学合同でシンポジウムを開催することになり、今回は第3回目になります。

シンポジウムの開会式では、チェンマイ大学Winita Punyodom副学長の開催宣言の後、本学上田学長、国立嘉義大学Chun-Hsien Chang副学長、チェンマイ大学Pongruk Sribanditmongkol学長がそれぞれ挨拶を述べられました。

初日は、本学教育学部寺尾徹教授と国立嘉義大学Wen-Lii Huang教授、チェンマイ大学Sirichai Koonaphapdeelert准教授の基調講演の後、ポスターセッション、およびStudent Oral Sessionを行いました。これらのセッションにおいては、多くの本学学生が参加の機会を得て、聴講者へ熱心に説明等を行い、会場は熱気に包まれました。

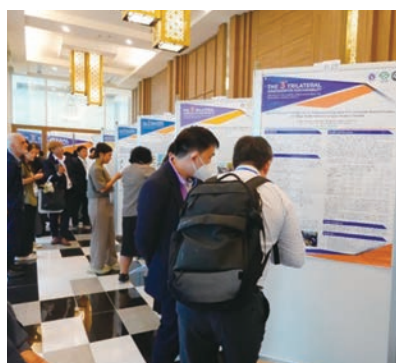
2日目は、「Health Session」、「Science and Technology Session」、「Food Session」、「Social Session」、「Tourism Session」、「Climate Action Session」、および「Students Session」が並行して開催され、セッション毎に特色あるアクティビティが行われました。

3日目は、各セッションからの報告の後、ポスター表彰式を開催し、閉会となりました。

また、8月26日(月)には、シンポジウムに先立ち、チェンマイ市内のホテルにて帰国留学生ネットワーク タイ支部第4回総会が開催され、樋口恵一在チェンマイ総領事や多くの本学教員が参加し、香川大学にかつて留学等をしていた同窓生と親交を深めるとともに、今後の国際交流について、歓談が行われました。

今回のシンポジウムにおいて、各大学の参加者は大変有意義な時間を持つことができました。特に若手教員と学生にとっては、国際的な場において研究成果発表し、幅広い話題について忌憚なく意見交換し、国際共同研究の輪を広げる大変貴重な機会であったように思います。

本学では、今後も協定校等との活発な国際交流活動を継続し、将来的に地域との連携・協働に繋がるようさらに推進していきます。



「日独SDGsシンポジウム2024 in 香川 (Japan-Germany SDGs Symposium 2024 in Kagawa)」を開催しました

2024年10月18日、香川大学幸町キャンパス多目的ホールにて、「日独SDGsシンポジウム2024 in 香川 (Japan-Germany SDGs Symposium 2024 in Kagawa)」を開催しました。

本シンポジウムは持続可能な都市と環境をメインテーマとし、香川大学主催、高松市、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、香川日独協会共催で行い、当日は学生、教職員、その他関係者や一般の方が80名(会場参加63名、オンライン参加17名)参加しました。

本学では、社会との共創の目標に係る計画の一環として、地域社会課題の解決に資するSDGsの活動推進を掲げるとともにSDGsアクションプランを策定し、多様な取り組みを展開しています。

当日は、和田健司副学長による開会挨拶の後、第一部では、カーボンニュートラルについての施策を実施されている高松市やボン市の取り組み、また本学の研究者の取り組みや、気候変動への挑戦など環境に関連した発表が行われました。



第二部のパネスディスカッションでは自動車の使用を削減した事例や海の赤潮を減らした事例など環境に関連した取り組みを紹介し、会場参加者を交えての活発な質疑応答や意見交換が行われ、上田夏生学長の閉会挨拶により閉会しました。

本シンポジウムを通して、本学のプレゼンスを強化するとともに、関連するいくつかの共通課題を見出すことができました。この国際シンポジウムは非常に有意義なものであり、大きな成果を得られたと考えています。



グローバル・インスピレーション・イニシアティブ

2024年7月4日(木)に、「グローバル・インスピレーション・イニシアティブ」を経済学部講義「国際観光論」とのコラボ企画として開催し、本学の学生・教職員約185名が参加しました。

最初に、日欧産業協力センター主催の「ヴルカヌス・イン・ヨーロッパプログラム」でリトアニアに留学した本学学生が、現地での語学研修とインターンシップでの経験について報告しました。その後、JICA四国センター業務課長の成田映太氏より、世界各地におけるJICAの取り組みや、グローバル社会の一員という視点と社会問題への向き合い方、留学の意義について講演いただきました。途中でJICA香川デスク国際協力推進員の由地一樹氏による海外協力隊員としての体験談があり、併せて「グローバル人材とは?」について深く考える機会となりました。



グローバル・カフェのWorkshopおよびイベント

○グローバル・カフェ 2024年度前期授業

4月15日から7月5日まで、ネイティブ教員、外部講師、留学生による語学クラスを開講しました。夏季休業中である8月3日から3日間、IELTS特別試験対策講座としてSpeakingとWritingにフォーカスした講座の開講に加え、7月22日から8月30日の間では、英語と中国語の学習支援が必要な学生へ個別レッスンを行い、英語面接対策や学会発表練習、中国語検定対策などを目的に多くの学生が利用しました。

○TOEIC Speaking & Writingテスト説明会

7月8日にTOEICを実施しているIIBC(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)にご協力いただき説明会を行いました。12月21日に幸町キャンパスで実施するTOEIC S&Wテストに向けて10月2日より対策講座を開講します。全11回の対策講座を受講した学生は本テストを無料で受検できます。

○グローバル・カフェイベント

1	Hanami Partyイベント		4月 2日(金)
2	留学生センター共催 ブラジルイベント		4月17日(水)
3	留学生センター共催 韓国イベント		4月30日(火)
4	留学生センター共催 マラウイイベント		5月15日(水)
5	留学生センター共催 ブルネイ・ダルサラーム国イベント		5月29日(水)
6	留学報告イベント(ブルネイ・ダルサラーム大学編)		6月 4日(火)
7	留学生センター共催 台湾 & ベトナムイベント		6月12日(水)
8	掬月亭抹茶付き!栗林公園散策イベント		6月13日(木)
9	屋島お遍路体験ハイキング		6月21日(金)
10	留学生センター共催 中国 & タイイベント		6月26日(水)
11	七夕ウィーク		7月 1日(月)~7月 8日(月)

○学生と共催したイベント

1	Welcome Musicイベント(軽音部とジャズ研究会によるライブ)		4月 4日(木)、5日(金)、 11日(木)、12日(金)
2	ICES(香川大学異文化交流会)共催 春だよ!全員集合! Let's meet & greet		4月18日(木)
3	香川大学将棋部共催 初心者将棋教室		5月21日(火)
4	香川大学吹奏楽団共催 コンサート		6月27日(水)
5	法学部3年・杉村さん共催 習字体験教室		7月 4日(木)
6	法学部3年・日和佐さん共催 和太鼓ワークショップ		7月 4日(木)
7	香川国際協力 NGO U-dawnセンター共催 映画観賞会		7月11日(木)
8	香川大学ジャズ研究会Birdland共催 Jazz Night		7月17日(水)

これまで本学留学生センター主催で、さめきプログラム参加学生による各々の出身国や生まれた街の紹介、自慢の郷土料理などについて「インターナショナルランチミーティング」と題し、定期的に昼休みを利用してプレゼンテーションを行っていましたが、今年度よりグローバル・カフェと留学生センターの共催イベントとして実施することとなりました。4月から6月にかけて8か国18名の留学生が故郷について紹介しました。

4月、新入生、在校生ともに良い新年度スタートを切ってもらいたいというICES(香川大学異文化交流会)の願いにより実施した「春だよ!全員集合!」イベントを皮切りに、学生との共催イベントを計8回実施しました。留学生に日本の文化に触れて欲しい!という香大生らによる「将棋教室」「和太鼓ワークショップ」「書道教室」など、様々なイベントが実現しました。



○留学相談

日本人学生を対象に、留学相談を受け付けています。学生の希望に合わせて相談時間を設定し、2024年前期に対面もしくはオンラインで計40回（対面39回、オンライン1回）実施しました。

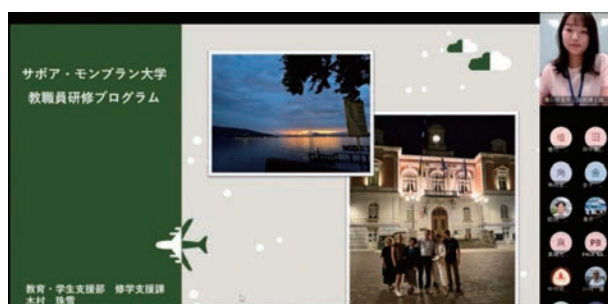
グローバル・カフェ HP
最新の情報はこちら



Erasmus+によるサボア・モンブラン大学への語学研修派遣について

昨年に引き続き本学の学術国際交流協定大学であるサボア・モンブラン大学から、本学職員を対象としたErasmus+語学研修プログラムの案内がありました。学内選考の結果、事務職員の木村 珠雪 修学支援課 課 員 を、2024年6月24日～28日 実 施 の” Summer Modules for Intercultural & Language Education (S.M.I.L.E) 2024” プログラムに派遣しました。

帰国後の9月25日には全教職員を対象としてオンライン報告会を開催しました。本報告会はSDとして、教職員の国際的な視野を広げ、本学の国際交流の更なる推進を深めることを目的として実施しました。プログラム受講報告のほか、派遣者に課した多文化共生に関する問題の理解についての意見交換も行いました。当日は52名の教職員が出席し、Moodleオンデマンド配信を13名が視聴しました。



<外国人留学生対象行事>

留学生のつどい

毎年1月に開催している「留学生のつどい」を、2023年度は2024年1月21日(日)に行いました。これは、本学に事務局を置く香川県留学生等国際交流連絡協議会が主催するもので、地域の関係者にもご参加いただき、留学生による日英2言語での司会により進行されました。2023年度は、このつどいの中で、初の試みとして留学生による日本語スピーチコンテストが実施されました。アルバイト先の制服を着てアルバイト体験を話す日本語学校生や、県内の高校に留学中の高校生など、県内在住留学生によるバラエティに富んだスピーチが行われました。また、同協議会主催のホームビジットプログラムに参加した学生およびホストファミリーからの体験報告、参加留学生による歌や楽器演奏のパフォーマンスも行われ、楽しい成果発表と交流のひとつときになりました。



日本語の歌を披露する学生と、
伴奏する教員



参加者全員で記念撮影

スピーチコンテストは従来の日本語作文コンテストと隔年開催のため、2024年度は作文コンテスト、ホームビジット報告、パフォーマンス等によるつどいを計画しています。協議会としては、今後も香川におけるアフターコロナのより良い学び・体験・交流等を目指し、活動を続けていきます。

ビーチクリーン

留学生と日本人学生が共修により地域課題を学ぶ主題科目「プロジェクトさめき」授業において、2024年度もSDGs14「海の豊かさを守ろう」に焦点を当て、実地研修としてビーチクリーンを実施しています。かがわガイド協会の森田桂治氏、安井里香氏のご指導のもと、第1クォーター（さめきプログラム20期生らが履修）では5月11日（土）に男木島、第3クォーター（同21期生らが履修）では11月10日（日）に坂出市沙弥島で研修を行いました。

沙弥島では、たまたま直前に別団体が清掃を行っていたため、今回は大きいごみではなく5mm以下のマイクロプラスチックに焦点を当てて拾っていきましました。マイクロプラスチックは海に流出すると海洋生物の生命を脅かしますが、実際に拾うのは非常に難しく、微細化する前にごみの発生を食い止めることの大切さを、身をもって感じることができました。



マイクロプラスチックを拾い、トレーに入れていく

◆第1クォーター 男木島



終了後、拾ったごみと共に記念撮影



拾ったごみを
国際基準に基づき
分類

◆第3クォーター 沙弥島



瀬戸大橋をバックに

2024年度春期修了式の実施

前号（第28・29号合併号）では、2022年度秋期および2023年度春期のさめきプログラム生および国費留学生の受け入れについて報告しました。その後、2023年度秋期にはさめきプログラム19期生7名（台湾3名、韓国2名、ドイツ1名、ブルネイ1名）および国費留学生4名（マラウイより教員研修留学生1名、韓国より日本語・日本文化研修生1名、ブラジルより同2名）、2024年度春期にはさめきプログラム20期生15名（ベトナム2名、タイ2名、ブルネイ5名、台湾1名、中国3名、韓国2名）と、順調に受け入れを続けています。本稿では、紙幅の関係で2024年度春期の修了式について報告します。

2024年4月に渡日し、半年間の留学を終えたさめきプログラム20期生15名と、2023年10月に渡日し、1年間の留学を終えた日研生3名の計18名が、8月6日（火）に修了式を迎えました。当日は、全員が、日本での学びや経験を振り返り、今後の抱負も含めて日本語でスピーチをしました。本さめきプログラムは、短期の留学を経験した学生に、将来正規生として再度本学へ戻ってきてほしいという期待を込めて運営していますが、19期生と20期生の中には本学の大学院進学に意欲的な者が複数名おり、送り出す側としては香川での再会を願っているところです。



修了式後の記念撮影

新入外国人留学生対象ガイダンスの実施

インターナショナルオフィス・留学生センターは、2024年度後期の留学生対象ガイダンスを実施しました。

まず、屋島の留学生会館および花園寮において、それぞれの寮のガイダンスを行いました。これらは、留学生が寮で生活するために必要な知識やルールを確認するとともに、防災についても学んでもらうことを目的としています。

続いて、10月5日(土)の午後には、全ての新入留学生を対象とした、新入外国人留学生ガイダンスを実施しました。28名の留学生と33名のサポーター学生が参加しました。内容には、日本の法令を遵守し、事故にあわないこと、加害者にならないことを徹底するための「法令遵守・交通安全ガイダンス」、



新入外国人留学生ガイダンス

キャンパス内外の生活に焦点を当てた「留学生生活ガイダンス」、「研究インテグリティガイダンス」、および「交流・SIMカード販売会」が含まれていました。これらのガイダンスにより、留学生が生活面、学習・研究面で困難を感じずに、良い学生生活を送れることを目指しています。



◀寮ガイダンスにおいて、災害時の避難場所を確認



2024年度秋期開講式の実施

2024年10月18日(金)、秋期さめきプログラム生および国費留学生を対象とした開講式を実施しました。今期の留学生の構成は、協定大学からの特別聴講学生(さめきプログラム生)が14名、国費留学生として日本語・日本文化研修留学生1名、教員研修留学生1名、大学院入学前の予備教育留学生1名の計3名です。学生たちは留学生センターに所属し、日本語・日本文化、SDGs等を学びます。

開講式では、和田インターナショナルオフィス長の歓迎の挨拶に続き、全ての留学生が、プログラム開始に際してのスピーチを行い、全員で記念撮影をして終わりました。

これらの所属留学生は、留学中には座学のみならず、各種フィールドワークに参加し実践能力を向上させるとともに、日本人学生や地域の皆様との交流や様々な行事への参加を通して、留学ならではの経験とスキルの向上を図ります。



開講式を終えた留学生 ▶ および参加者

初級日本事情a

初級日本事情aの授業では、さめきプログラムの学生や交換留学生を対象に、日本の歴史、文化、風習、地理などについて総合的に学ぶ授業を開講しています。教室での授業に加え、体験的な学びを通して理解を深めることを目的に、フィールドワークを行っています。2024年度前期は、瀬戸内圏研究センターの協力を得て調査船カラヌスIIIで5月24日に小豆島のマルキン醤油記念館を訪問し、和食に欠かせない醤油の伝統的製法を通して食文化を学びました。また6月13日の栗林公園掬月亭での抹茶体験と6月21日の屋島寺への遍路体験は、グローバル・カフェと共催して参加者を募り、一緒に日本文化を体験しました。2024年度後期も同様のフィールドワークを実施する予定です。

屋島遍路体験後、瀬戸内海を臨む▶



◀マルキン
■ 醤油記念館での
■ もろみ絞り体験



<日本人学生派遣事業>

プトラ・マレーシア大学の学生とともに学ぶマレーシア・多文化体験プログラム

全学部1、2年生を対象とし、春期超短期留学入門プログラム（2024年2月24日～3月2日）を実施しました。このプログラムは、本学の学術交流協定校であるプトラ・マレーシア大学（UPM）の全面的な協力のもと、フィールドワークなどによる学びを通して多様性の理解を促進することを目的としたものです。第2回目の今回は、男子学生1名、女子学生2名が参加しました。

プログラム期間中は、UPMの学生がバディとなって一緒に活動し、参加学生たちと友情を深めました。UPMの先生方による授業では、マレーシアの歴史、伝統、宗教などの概要を学ぶ講義のほか、アラビア語書道や伝統的なゲームを楽しむ体験型の授業もありました。プログラムの最後には、参加学生たちが学んだことを英語でまとめて発表しました。参加者からは「気候や食文化、生活様式などの違いには驚くことも多かったが、現地で実際に体験できてよかった」「バディをはじめ出会った人々が皆親切で、とても楽しい一週間だった」「英語に不安があったが、プログラム後半には大分聞き取れるようになった」などの感想が寄せられました。



UPM大学博物館で
以前香川大学に訪問したUPM学生と再会



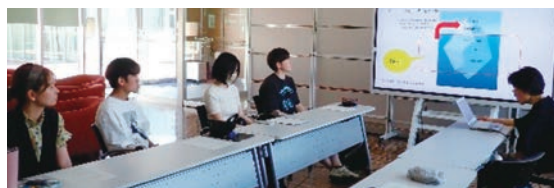
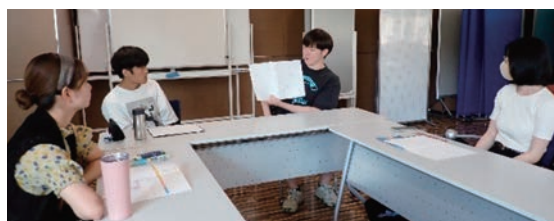
アラビア語の書道を習う



プトラジャヤの湖上クルージング

日本学生支援機構（JASSO） 協定派遣プログラム（通称「がいな」）について

「SDGsと紐づけた学習活動の実践によるグローバルコンピテンシーをもつ『がいな』人材育成プログラム」による協定校派遣を2024年7月から開始しました。10月までにブルネイに1名、ドイツに1名、タイに2名派遣し、さらに今後、台湾に2名派遣予定です。派遣学生は、グローバル・カフェで実施する事前研修を受講し、留学目的を明確にして現地での学習に備えるとともに、留学先からは毎月レポートを送って、現地の様子や学習の進捗ぶりを伝えることになっています。



事前研修の様子

かがわグローバル人財共創事業 「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」

2022年度をもってトビタテ!留学JAPAN地域人材コースが終了した後、その承継事業「香川グローバル人財共創事業」の一環として2024年度、あらたに「グローバル・スタートアップ海外研修プログラム」の募集を行いました。このプログラムは、香川県の課題解決に取り組む志の高い若者の海外研修を支援するもので、分野別プログラムと県内企業内定者向けプログラムから成り、香川大学国際課が事務局を務めています。9月に第一期の選考が行われ、2名の県内大学生（香川大学・高松大学）が分野別プログラムに採用されました。今後、事前研修を経て、それぞれの研修先に赴く予定です。

かがわグローバル人財共創事業
グローバル・スタートアップ海外研修プログラム
第1期 派遣留学生募集
～やりたいことが出来る留学！新しい自分に出会う旅をサポートします～

**成績・語学力不問！
自由度の高い留学**

**準備金・留学費用は
返済不要の奨学金**

**1週間以上3か月未満の
短期留学をサポート！**

応募資格
留学計画書を作成の上、所属学部の学務担当に8月20日（金）17時まで電子データ（メール）でご提出ください。

留学期間：2024年11月1日～2025年3月31日の間に出国
留学期間：1週間以上3か月未満の短期留学
留学先：自分が興味のある国・地域

留学計画書と奨学金
留学先や研修先が分らず、応募を躊躇っていませんか？そんなあなたへの留学計画書作成サポートがあります！香川大学人財共創事業（香川大学国際課）にお問い合わせください。mail: kikuai@kagawa-u.ac.jp

お問い合わせ先
香川地域人材共創事業（香川大学国際課内）
mail: kikuai@kagawa-u.ac.jp

かがわグローバル人財共創事業
グローバル・スタートアップ海外研修プログラムホームページ
http://33.2137.com/

インターナショナルオフィスからのお知らせ

●新任教員の紹介



呉 昶熹(ゴ インキ)

こんにちは!呉昶熹です。中国の厦門で生まれ、幼少期の休暇は母の実家、厦門近くの台湾が統治する小さな島、金門で過ごしました。高校卒業後、広州、台北、ボストン、京都、ホーチミン市、ダラット、ハノイ、東京など、さまざまな場所で学び、研究し、生活してきました。今年の7月より香川大学に着任し、現在はインターナショナルオフィスで「さめきプログラム」の授業を担当しながら、グローバルカフェでのイベント運営も支援しています。多文化経験を活かし、学生の皆さんとの交流を通じて香川大学に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いします!

Luke Draper

I am from Portsmouth in the UK. I joined Kagawa University in September 2024 and am an instructor at the Global Café. I hope to make the Global Café an important hub for intercultural learning and meaningful communication for all students.

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第30・31号 2024年(令和6年)12月24日

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel: 087-832-1318 Fax: 087-832-1192
E-mail: kokusai-h@kagawa-u.ac.jp
URL: <https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL: <https://www.facebook.com/KUISC>
グローバル・カフェfacebook
URL: <https://www.facebook.com/GlobalCafeKagawaUniv>